

北朝鮮核実験・ミサイル問題対策本部 次第

平成28年8月3日(水)
17時00分 901号室

1. 開会・挨拶 橋本 岳 北朝鮮核実験・ミサイル問題対策本部事務局長(外交部会長)
2. 挨拶 二階 俊博 北朝鮮核実験・ミサイル問題対策本部長

(以上、マスコミオープン)

3. 議 事 北朝鮮による弾道ミサイル発射について
説明：槌道 明宏 内閣審議官
飯島 俊郎 外務省総合外交政策局参事官
前田 哲 防衛省防衛政策局長

4. 質 疑

5. 閉 会

【省庁出席者】

<内閣官房>

(事態室) 槌道内閣審議官

(国家安全保障局) 中島国家安全保障局次長兼内閣官房副長官補(事態対処・危機管理担当)

(拉致問題対策本部) 岡本内閣審議官、島田政策企画室室長

(外政) 田村内閣参事官

<外務省> 大菅アジアド洋州局審議官、飯島総合外交政策局参事官

<防衛省> 前田防衛政策局長、辰己統合幕僚監部総括官、茂木防衛政策局調査課長、鈴木大臣官房審議官

<内閣府> 党内閣府公益認定等委員会事務局法令基準室長

<警察庁> 小島警備局外事情報部外事課長

<金融庁> 原村監督局総務課信用機構対応室長、三浦監督局総務課信用機構対応室長

<総務省> 山口自治行政局行政課監査制度専門官、丸山消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室長、小林情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室課長補佐、棚田情報流通行政局放送技術課課長補佐、岩坪情報流通行政局衛星・地域放送課国際放送推進室課長補佐

<法務省> 丸山入国管理局入国在留課長、井上公安調査庁公安調査管理官

<財務省> 寺谷大臣官房総合政策課政策推進室長、伊藤関税局監視課課長補佐、福島国際局調査課外国為替室長

<文部科学省> 匂坂大臣官房国際課長

<水産庁> 藤田資源管理部管理課長

<経済産業省> 戸高貿易経済協力局貿易管理部貿易管理課長、桐部通商政策局韓国室長

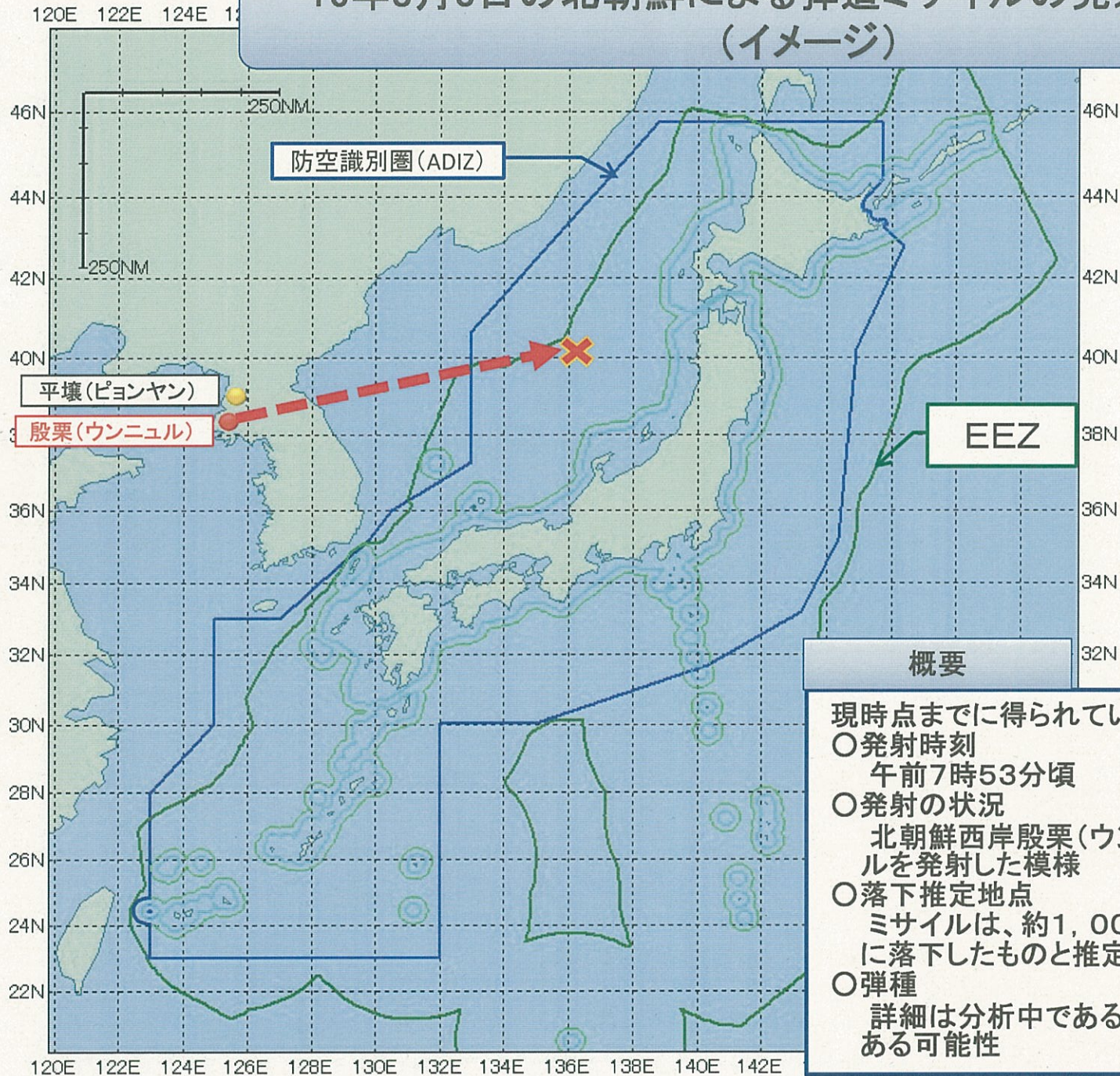
<国土交通省> 七尾大臣官房審議官(危機管理)、峰本海事局安全政策課危機管理室室長、多門航空局安全部安全企画課課長、秋本海上保安庁海上保安監

お 知 ら せ

平成28年8月3日
内閣官房

1. 本日7時53分頃、北朝鮮西岸より、1発の弾道ミサイルが発射された模様である。
2. これを受け、政府においては、官邸危機管理センターに設置している「北朝鮮情勢に関する官邸対策室」において情報を集約するとともに、関係省庁局長級会議を開催し、対応について協議した。
なお、引き続き確認中であるが、現時点において、付近を航行する航空機や船舶への被害報告等の情報は確認されていない。
3. 総理には、本件について直ちに報告を行い、
 - ① 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
 - ② 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
 - ③ 不測の事態に備え、万全の態勢をとることの3点について指示があった。
4. これまでの弾道ミサイルの発射に続く今回の発射は、明白な安保理決議違反であり、航空機や船舶の安全確保の観点からも極めて問題のある行為で、北朝鮮に対し、嚴重に抗議を行うこととしている。
5. 引き続き、情報の収集・分析に全力をあげ、今後追加して公表すべき情報を入手した場合には、速やかに発表することとしたい。

16年8月3日の北朝鮮による弾道ミサイルの発射について (イメージ)



概要

- 現時点までに得られている諸情報を総合的に勘案すると、
- 発射時刻
午前7時53分頃
 - 発射の状況
北朝鮮西岸殷栗(ウンニョル)付近から、1発の弾道ミサイルを発射した模様
 - 落下推定地点
ミサイルは、約1,000km東北東方向に飛翔し、日本海上に落下したものと推定
 - 弾種
詳細は分析中であるが、飛翔距離等に鑑みれば、ノドンである可能性

過去のドン・スカッド発射事案



	発射日	時刻	弾種(推定)	発射数	飛翔距離	発射場所
④	14. 3. 3	0620頃、0630頃	スカッド	2発	約500km	元山(ウオンサン)付近
⑤	14. 3. 26	0230頃、0240頃	ドン	2発	約650km	肅川(スクチョン)付近
⑥	14. 6. 29	0500頃	スカッド	2発	約500km	元山(ウオンサン)付近
⑦	14. 7. 9	0400頃 ~0420頃	スカッド	2発	約500km	平壤の南方約100km
⑧	14. 7. 13	0120頃 ~0130頃	スカッド	2発	約500km	開城(ケソン)付近
⑨	14. 7. 26	2135頃	スカッド	1発	約500km	海州(ヘジュ)の西方約100km
⑩	15. 3. 2	0630頃、0640頃	スカッド	2発	約500km	南浦(ナンポ)付近
⑪	16. 3. 10	0522頃、0527頃	スカッド	2発	約500km	南浦(ナンポ)付近
⑫	16. 3. 18	0554頃	ドン	1発	約800km	肅川(スクチョン)付近
⑬	16. 7. 19	0544頃、0558頃、0636頃	分析中(スカッドまたはドンの可能性)	3発	約400km(1発目) 約500km(3発目)	黄州(ファンジュ)付近

	発射日	時刻	弾種(推定)	発射数	飛翔距離	発射場所
①	93. 5下旬	不明	ドンの可能性	不明	不明(日本海に向けて)	不明
②	06. 7. 5	0330頃 ~0820頃	スカッドおよびドン	6発	約400km	キテリョン
③	09. 7. 4	0800頃 ~1730頃	それぞれスカッドまたはドン	7発	※ 最長約450km	キテリョン

※ 発射された計7発の弾道ミサイルは、いずれも09(平成21)年6月22日に北朝鮮より連絡を受け、海上保安庁が航行警報を発出した軍事射撃訓練区域(1)北緯39度9分 東経127度37分、2)北緯41度12分 東経129度50分、3)北緯41度30分 東経131度59分、4)北緯41度15分 東経132度6分および5)北緯38度55分 東経128度2分、で囲まれる区域)内に落下したのではないかと推測される。

2016年に行われた北朝鮮による挑発事案

核実験
 弾道ミサイル発射

日付	挑発の概要	場所	弾種	飛翔距離
16.01.06	4回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)	—	—
16.02.07	「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射	東倉里(トンチャンリ)	テポドン2派生型に類似した長距離弾道ミサイル	約2,500km (2段目落下地点)
16.03.03	短距離発射体6発を発射	東岸・元山(ウォンサン)付近	300ミリ多連装ロケット(可能性)	約100~150km
16.03.10	弾道ミサイル2発を発射	西岸・南浦(ナンポ)付近	スカッド(可能性)	約500km
16.03.18	弾道ミサイル1発を発射	西岸・肅川(スクチョン)付近	ノドン(可能性)	約800km
16.03.21	短距離発射体5発を発射	東部・咸興(ハムフン)南方	300ミリ多連装ロケット(可能性)	約200km(韓国合参)
16.03.29	短距離発射体1発を発射	元山(ウォンサン)付近	300ミリ多連装ロケット(可能性)	約200km(韓国合参)
16.04.01	短距離地对空ミサイル3発(内2発は失敗)を発射	宣徳(ソンドク)付近	短距離地对空ミサイル(KN-06)(可能性)	約100km(韓国報道)
16.04.15	弾道ミサイル1発を発射	東岸地域	ムスダン(指摘)	不明
16.04.23	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	約30km(韓国合参)
16.04.28	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	不明
16.05.31	中距離弾道ミサイル(IRBM)1発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(可能性)	不明
16.06.22	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	1発目: 約100km(最大) 2発目: 約400km
16.07.09	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	数km(韓国報道)
16.07.19	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州(ファンジュ)付近	スカッド又はノドン(可能性)	1発目: 約400km 3発目: 約500km